

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↓

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、自動車サプライチェーンの影響により、足踏みがみられており、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる	↓
生産活動	緩やかに持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↓
雇用情勢	下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	→
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	→
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる」

百貨店販売は、緊急事態宣言等による営業時間の短縮や悪天候の影響により低調。スーパー販売は、悪天候の影響や前年度の巣ごもり需要の反動減により前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は、感染症の拡大や悪天候による客足の減少があったものの、底堅く推移。乗用車販売は、半導体不足等の影響による供給の遅れから、足下で大きく落ち込んでいる。専門量販店（ドラッグストア、家電大型専門店、ホームセンター）は、前年の巣ごもり需要等の反動減がみられるものの、引き続き堅調に推移している。旅行取扱高は、足下で一部に動きもみられるものの、厳しい状況は継続している。

（主なヒアリング結果）

- 7月以降、回復基調にあったものの、8月の緊急事態宣言や天候不良の影響を受けて再度落ち込み、その状態が足下まで継続している。（百貨店、大企業）
- 今後について、感染症の動向ももちろんだが、新政府の経済政策など不確定要素が多く全く読めない。仮に感染症が収束したとしても、生活様式の変化により来店客がコロナ前の水準に戻ることはないだろう。（百貨店、中堅企業）
- 前年の巣ごもり需要の反動減でやや低迷している。また、コロナ禍での所得減少に伴い、顧客の買い物スタイルがまとめ買いになったほか、ディスカウント店への流出により、客数減少に繋がっている。（スーパー、中小企業）
- 8月以降、半導体不足や感染症の影響による東南アジアの工場停止で落ち込んでいる。受注はあるものの供給が追いついていない状況。（自動車販売、中小企業）
- 感染拡大前の水準はおおむね保っている。宣言解除後は販促活動も積極的に行えるため、売上増を期待。（家電大型専門店、中堅企業）
- 感染対策商品、巣ごもり需要、特別定額給付金による売上の押上げがあった前年には届いていないものの、主力の園芸用品が好調。前々年並みの水準は保っている。（ホームセンター、大企業）
- 徐々に予約状況は改善しているものの、人流の本格的な回復には至っていない。本格的な回復は例年よりも修学旅行の予約が多い11月以降になると思う。（宿泊、中小企業）
- 宣言解除から間もないため、現時点で目に見えて大きく客足の増加とはなっていないが、感染症が再び拡大しなければ、売上は回復するだろう。（飲食、大企業）

■ 生産活動 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

輸送機械の自動車は、サプライチェーンの影響により足踏みがみられる。鉄鋼は、海外向けを中心に緩やかに持ち直している。電子部品・デバイス、車載向け及び産業機械向けを中心に回復の動きがみられる。造船は、一定の受注残高及び操業を維持している。このように、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 部品供給停滞の影響から工場の操業を停止する日もあり、生産調整が続いている。（輸送機械、大企業）
- 自動車向け需要が足下減少しているものの、生産量は安定しており回復基調は続いている。（鉄鋼、大企業）
- 半導体需要は継続しており、特にスマートフォン向けやデータセンター向け製品が堅調となっている。（情報通信機械器具、中堅企業）

■ 雇用情勢 「下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

将来的な需要回復を見越して求人を再開する企業もみられているなか、有効求人倍率は足下で下げ止まっており、求人等の動きに底堅さがみられるものの、小売業や飲食サービス業を中心に弱い動きとなっている。

- 半導体部品などが好調のため、総売上は回復基調にあるものの、事業によっては回復時期が見越せず、人員拡充の必要性及びその時期の判断が困難な状況。（電気機械器具、大企業）
- 雇用調整助成金を活用して、引き続き従業員の休業措置を行っている。昨年以降退職者が複数おり、従業員数が減少しているが、次第に経済活動が常態化することを見据えると人員不足が想定されるため、今後新規採用を少しずつ増やしていく。（宿泊、中堅企業）
- 求人全体は改善の動きがみられているが、飲食店や百貨店、またこれらとの取引割合が高い業者などの求人動向は、引き続き厳しい状況が続いている。（労働局）

■ **設備投資 「3年度は増加見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、「自動車・同附属品」等で減少見込みとなっているものの、「窯業・土石製品」、「非鉄金属」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、「建設」等で減少見込みとなっているものの、「金融、保険」、「小売」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

- 今年度は、維持更新及び能力増強に加え、物流システムの全面改修を行うため、増加見込みとなっている。(窯業・土石製品、大企業)
- 今年度は、老朽化した営業店の増加により店舗改修を予定しているため、増加見込みとなっている。(金融、保険、大企業)

■ **企業収益 「3年度は増益見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械器具」等で減益見込みとなっているものの、「電気機械器具」、「自動車・同附属品」等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、「学術研究、専門・技術サービス」等で減益見込みとなっているものの、「運輸、郵便」、「宿泊、飲食サービス」等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **住宅建設 「前年を上回っている」**

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲住宅及び給与住宅が増加していることから前年を上回っている。

■ **輸出 「前年を上回っている」**

- 輸出 (円ベース) は、前年を上回っている。なお、輸入 (円ベース) は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査 (3年7-9月期) の景況判断BSIでみると、3年7-9月期は、引き続き「下降」超となっている。先行きについては、3年10-12月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。

3. 各県の総括判断

	前回 (3年7月判断)	今回 (3年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
福岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、自動車サプライチェーンの影響により、足踏みがみられており、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
佐賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症等の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、コンビニエンスストア販売額が前年を上回っているものの、百貨店・スーパー販売額等が新型コロナウイルス感染症及び天候不順の影響により前年を下回るなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
長崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。